

以下の項目は、あなたの子ども（ひきこもっている人）との実際の接し方についてお聞きします。それぞれの項目の接し方をあなたがどの程度行うかについて、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。質問によっては、ある場面ではするけれどある場面ではしない、という行動もあるかと思いますが、あまり考え込まずにお答えください。

	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	たまにあてはまる	非常にあてはまる
1. 子どもと揉めたとき、自分の悪いところは認め て伝える	1	2	3	4
2. 子どもが困っているようなときには、どうして ほしいのか優しく語りかける	1	2	3	4
3. 不愉快な気持ちを伝えるとき、自分がどんな気 持ちになったか子どもに伝える	1	2	3	4
4. 楽しい話をするときは、その場に合った明るい 声の調子で話す	1	2	3	4
5. 子どもと接するとき、自分がどのようない 感情であるか無自覚である	1	2	3	4
6. 楽しい話をするときは、その場に合った明るい 表情で話す	1	2	3	4
7. 子どもと揉めたとき、自分の悪かったところに ついては触れない	1	2	3	4
8. 子どもには思いやりのある言葉で話す	1	2	3	4
9. 話しかけられたときには子どもを見る	1	2	3	4
10. 子どもが望ましい行動をしても、何も言わずに 放っておく	1	2	3	4
11. 子どもが自由に行動できるように、安心できる 接し方をする	1	2	3	4
12. 早く立ち直れるように、子どもを急かす	1	2	3	4
13. 話しかけるとき、子どもに不快感を与えない距 離をとる	1	2	3	4
14. 楽しそうにしている様子は見せない	1	2	3	4

		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	たまにあてはまる	非常にあてはまる
		1	2	3	4
15.	子どもを何かに誘うことはしない				
16.	楽しく過ごしている様子を見せる	1	2	3	4
17.	おかしいと思うような話を子どもがしていても、まずは否定しない	1	2	3	4
18.	気持ちが焦っているときでも、落ち着いた声で話す	1	2	3	4
19.	話しかけられたとき、子どもの方に体を向ける	1	2	3	4
20.	子どもの行動を認めるときには、その行動を明確にして認める	1	2	3	4
21.	不愉快な気持ちを伝えるとき、不愉快になった理由を具体的に話す	1	2	3	4
22.	子どもが関心のありそうなことがあったら軽く誘ってみる	1	2	3	4
23.	子どもと接するとき、自分がどのような感情であるかを自覚している	1	2	3	4
24.	子どもにはお手伝いを頼むようなことはしない	1	2	3	4
25.	子どもが望ましい行動をしたときは、すぐに認めて褒める	1	2	3	4

## 引用元

Nonaka, S., Shimada, H., & Sakai, M. (2021). Behavioral Repertoire of Families for Coping with Individuals with Hikikomori (Prolonged Social Withdrawal) in Japan. *Japanese Psychological Research*, 63, 13-25. <https://doi.org/10.1111/jpr.12273>

#### 4因子25項目

範囲：25～125点

逆転項目：5, 7, 10, 12, 14, 15, 24

協調（12項目）：1, 2, 8, 9, 11, 13, 17, 18, 19, 20, 23, 25

主張（5項目）：3, 15, 21, 22, 24

自己統制（5項目）：5, 7, 10, 12, 14

陽気（3項目）：4, 6, 16

#### 平均値と標準偏差

	ひきこもり状態にある人の親	ひきこもりを経験していない人の親
合計得点	平均値 76.87 標準偏差 10.21	平均値 72.25 標準偏差 10.58
協調	平均値 37.66 標準偏差 5.97	平均値 34.67 標準偏差 7.06
主張	平均値 14.51 標準偏差 2.97	平均値 14.45 標準偏差 2.29
自己統制	平均値 14.99 標準偏差 2.67	平均値 14.17 標準偏差 2.75
陽気	平均値 9.71 標準偏差 1.84	平均値 8.96 標準偏差 2.04

#### 引用元

Nonaka, S., Shimada, H., & Sakai, M. (2021). Behavioral Repertoire of Families for Coping with Individuals with Hikikomori (Prolonged Social Withdrawal) in Japan. *Japanese Psychological Research*, 63, 13-25.  
<https://doi.org/10.1111/jpr.12273>